

出会のワゴン (後期)

今月の出会のワゴンのテーマは、「夏におすすめの本」です。

『ある晴れた夏の朝』 小手鞠るい

〈「原爆」とはなにか?〉

原爆について原爆否定派、原爆肯定派に分かれて原爆の是非を論じるアメリカの高校生八人。なぜ、広島と長崎に原爆が落とされたのか。アメリカの高校生に説明できますか。

『夏の庭』 湯本香樹実

「死んだ人って重たいのか」そんな興味から、もうじき死にそうなおじいさんを見張り始めた少年たち。おじいさんとの交流から、様々なことを知った…十二歳の少年たちの忘れがたい夏を描いた一冊。

『夏空百花』 須賀しのぶ

ボールもない、球場もない、指導者もない。それでも、もう一度甲子園で野球がしたい。己のために、戦争で亡くなった仲間のために、これからの日本に希望を見せるために。戦争を跨いで五十年後再び訪れたものは…。

直木賞候補作家が魂を込めて書ききった、最高傑作にして到達点!

皆さんは、この夏休みはどう過ごしますか?..

部活や課題に取り組み日々が続くと思いますが、朝の読書活動のように読書を予定に組み込んで、たくさん本の手に触れる計画を立ててみてはいかがでしょうか?..



図書館利用のきっかけ

皆さんは、どのような目的で図書館を利用していますか?好きな作者さんの本を借りたり、授業や宿題のために本を探したり…と、その理由は他者多様だと思えます。しかしなかには、そもそも図書館を利用することがほほいという人も多いと思います。前までは、私もそうでした。

しかし、2年前にとある歴史・偉人が元ネタの作品にハマってから、図書館を利用する頻度は上がりました。その作品の推しのことを詳しく知りたくて本を借り、今度は推しが生きていた当時のことが知りたくて本を借り、今度は推しに関連のある人物についての本を借り…と、何度も何度も図書館に通うことになりました。

そのかいあってか、苦手だった社会の授業も楽しくなり、成績も上がりました。本で読んだことのある話が授業で出てくると、少し得をした気分になりました。また、授業で気になる話が出たら、詳しく知るために本を探すようになり、さらに授業が楽しみになりました。

このように、私が図書館に通うようになったきっかけが推しができたからだったように、行動を起こすきっかけは些細な興味からなのだと思います。そして、興味を深堀りすることは、きっといい結果をもたらします。

今持っている興味を生かすために、あなたも図書館へ足を運んでみませんか?また、いま何にも興味を持っていない人も、まずは自分が興味を持てるものを探すために色々なジャンルの本に手を出してみませんか?



新刊紹介 (新書)

- 『少年法入門』 廣瀬 健一
- 『グリーン・ニューディール』 明日香書川
- 『東南アジア史10講』 古田 元夫
- 『失われた時を求めて』への招待』 吉川 一義
- 『源氏物語を読む』 高木 和子
- 『日本経済図録 第五版』 宮崎 勇他
- 『ブツダが説いた幸せな生き方』 今枝 由郎
- 『チャリティの帝国』 金澤 周作
- 『モダン語の世界へ』 山室 信一
- 『好循環のまちづくり!』 枝廣 淳子
- 『大学は何処へ 未来への設計』 吉見 俊哉
- 『「オビニオン」の政治思想史』 堤 林 剣 他
- 『尊厳』 内尾 太一 他
- 『時代を打つノンフィクション』 佐高 信
- 『戦後政治史 第四版』 石川 真澄
- 『労働組合とは何か』 木下 武男
- 『四角形の七不思議』 網矢 治夫
- 『アインシュタイン方程式を読んだら』 深川 峻太郎
- 『宇宙』が見えた』 大島 まり
- 『理系女性の人生設計ガイド』 大島 まり
- 『アメリカ版 新・大学生物学の教科書』 デイヴィッド・サグワア
- 『大学入試数学 不朽の名門100』 鈴木 貴太郎
- 『寿命遺伝子 なぜ老いるのか』 鈴木 貴太郎
- 『何が最後を導くのか』 森 望
- 『三休問題 天才たちを悩ませた400年の未解決問題』 浅田 勢樹
- 『なっとくする数学記号π・eから』 浅田 勢樹
- 『偏微分まで』 黒木 哲徳

受入済のものから順次新着として並びます。

(四年)

(五年)

(六年)

出会うフロン (前期)

今月の出会いのフロンのテーマは、「海」です。みなさんもこの夏たくさん本を読んでみてください。



『日本海』

その深層で起った『2011』蒲生俊敏

私達にとっては、馴染みの深い日本海。

しかし、世界中の海洋学者にとっては、珍しい海でもある。ミシ海洋ともよばれる日本海の知られざる秘密とは？

私達の知らない日本海の秘密をこの本とともに、探ってみよう！

『ドリトル先生航海記』ヒューロフティンゲ

この本は、ドリトル先生に興味のある人、ない人、誰もが面白いと思える本です。ドリトル先生をあまり知らない人もきくと驚くような本です。ぜひ、この夏に読んでみてください。

『希望の海へ』マイケル・モーバー』

戦災孤児アーサーはたった一人でイギリスからオーストラリアへと送られました。そこでの過酷な日々には負けず造船や航海を学んだ彼は姉キティを探す旅に出ますが…。父娘2代にわたる感動の物語です。

『海と毒薬』遠藤周作

とある男が気胸を患い、街の開業医を訪ねる。その開業医は腕はあるが、異様な雰囲気を感じてきた。その理由は…。戦時中に一人の医者が巻き込まれた出来事とは？

(一年)

図書館の有効な活用法

『日本十進分類法』

いよいよ夏休みが近づいてきました。そこで、今回は夏休みに色々なジャンルの本を読むためのすすめとして、『日本十進分類法(NDC)』をご紹介します。

NDCでは、図書資料をその主題

によって、

1〔哲学〕

2〔歴史〕

3〔社会科学〕

4〔自然科学〕

5〔技術〕

6〔産業〕

7〔芸術〕

8〔言語〕

9〔文学〕

に分類しています。

また百科事典や

総合年鑑のよう

に、あらゆる事

項を取り扱ったもので1～9のどれにも属さないものには、〇記号を与え「総記」として最初に置いてあります。この10の区分をさらに細かく分類して図書資料がきれいに配列されるよう工夫されています。

NDCを活用して新しいジャンルの本との出

会いを楽しみ、教科の学習を強化するため

も図書館でさまざまな本と触れ合ってみて

ください。

(三年)

新刊紹介

『アプリケーションエンジニアになるには』

『3ステップでしっかり学ぶJava入門』

『10代におきたい17のこと』 本田 健

『ニュータイプの時代』 山口 周

『人生を変える「コーチング脳」の作り方』 宮越 大樹

『実力も運のうち』 マイケル・サンデル

『5分でわかる10年後の自分 2030年のハローワーク』 関子 慧

『流行に踊る日本の教育』 石井 英真

『新・日本の階級社会』 橋本 健二

『子どもの目が危ない』 大石 寛人

『「人生百年」という不幸』 里見 清一

※配布物では瀬尾まいことなっていました訂正します。

『教えないスキル』 佐伯夕利子

『文豪たちの住宅事情』 田村 景子

『文豪の死に様』 門賀美央子

『家族じまい』 桜木 紫乃

『琥珀の夏』 辻村 深月

『臨床の誓』 夏川 草介

『白鳥とコウモリ』 東野 圭吾

『カザアナ』 森 絵都

『不滅の子どもたち』 クロエ・ベンジャミン

『シリアで猫を救う』 アラー・アルジャーリー

『偶然の祝福』 小川 洋子

『アンド・アイ・ラブ・ハー』 小路 幸也

『神様のお宿で、ふたりだけのお月見です』 田井ノエル

『薬屋のひとりごと』 11 日向 夏

『メインテーマは殺人』 アンニー・ホロウィッツ

『ジウ 新装版』 菅田 哲也

(二年)

編集後記

最近色々な作品で擬人化がはやってる。

流行っているとはいえ

とも一部の界限だが。

馬娘のアニメ第二

期、そしてそのアプ

リのリリース。これら

を皮切りにと言えな

いが続々と擬人化の流

れが来た。この流れに

乗って次々と新しいの

が来るだろう。そこで

次は何の擬人化が来る

のか予想してみる。

予想一、将棋の駒説。

これはあれだ。棋士が

そのコマたちを指揮し

て戦うバトルものだ。

棋士が違う騎士になる

物語でもある。漫画に

なりそう。

予想二、職業の擬人

化？説。職業の擬人化

はどこが違う気がする

が放って置く。イメ

ジは本の職業図鑑みた

いな感じた。その職業

家たちが戦うバトル口

ワイヤルものです。予

想一の漫画と違ってこ

ちらはゲームだ。

予想三、数学科学の

公式たちが血で血を洗

う戦いをするバトルも

の。説明不要。

どれもこれもバトル

ものだが男の子だから

しょうがない。擬人化

をするにしても知識が

必要だ。この学校の図

書館は驚異の収蔵数を

誇っている。ぜひ来て

ぜひ。(委員長)